競技注意事項

**１　競技について**

（１）本競技会は、２０１８年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、および本大会申し合わせ事項によって運営する。

（２）競技者招集について

　　ａ 招集場所は、第４ゲート付近に設ける。但し、棒高跳の競技者は跳躍場において点呼を受ける。

　　ｂ スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻１時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。競技者本人がナンバーカード、競技用靴及びシャツ・バッグ等の商標チェックを受け最終点呼を受ける。ただし２種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。

　　ｃ　招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。

　　ｄ 棒高跳の競技者は召集の際に「アップライト申告書」（招集所に置く）を競技役員に提出すること。

　　ｅ　招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。

　　ｆ　混成競技においては、１日目、２日目の第１種目は招集所で招集を受けること。ただし、第２種目

目以降は混成競技者控所（スタンド下走路　ロビー側）にて点呼（トラックは競技開始の２０分前、

フィールドは４０分前）をとった後、混成競技係の誘導により競技場所へ移動する。

（３）ナンバーカードについて

　　ａ ナンバーカードは主催者が用意したものを、そのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。

　　ｂ トラック競技に出場する競技者は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。

　　ｃ 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に｢1｣｢2｣｢3｣と順位を示す別ナンバーカード（胸部のみ）を使用する。別ナンバーカードは、混成控室で混成競技係が配布する。

　　ｄ 1500ｍ以上の種目については、別ナンバーカードを使用するので、競技開始１時間前までに招集所で受け取り、招集開始時刻までにつけておくこと。その際、正規ナンバーカードを持参すること。

（４）競技規則１６２条８により、不正スタートをした競技者は１回で失格とする。

（５）イエローカードの取り扱いについては競技規則１６２条５の国内適応とする。

（６）スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき９㎜以下とする。また走高跳及びやり投の場合は１２㎜以下とし、ピンの数は１１本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は４㎜四方の寸法に適合するように作られていなければならない。

（７）組・レーン順および試技順について

　　ａ トラック競技のレーンおよびフィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。

　　ｂ トラック競技の準決勝・決勝のレーンは番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。

（７）リレ－競技について

　　ａ オ－ダ－は、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の１時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。４日目男女の４×４００ｍＲのオーダーについては、前日の１６：００までに招集所に提出してもよい。当日は７：３０から受付を始める。

　　ｂ リレ－に出場するチ－ムは、同一のユニフォ－ムを着用すること。

　　ｃ　4×400mRの第１．２．３走者は左腰に、第４走者は左右両腰に腰ナンバー標識を付ける。

（８）跳躍競技のバーの上げ方について

　　下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。

　　１位及び全国大会出場の決定戦は、棒高跳は５㎝・走高跳は２㎝の上げ下げによって行う。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 走高跳 | 男子  女子 | 練習1m80　1m90  練習1m40　1m50 | 1m85　1m90　1m95　2m00　2m03　以後3㎝  1m45　1m50　1m55　1m58　1m61　以後3㎝ |
| 混　成  走高跳  （２ピット） | 八種 | 練習1m45　1m65 | 1m50　1m53　1m56　1m59　1m62　以後3cm  ２ピットとも同じ高さから開始する |
| 七種 | 練習1m15　1m35 | 1m20　1m23　1m26　1m29　1m32　以後3cm  ２ピットとも同じ高さから開始する |
| 棒高跳 | 男子  女子 | 練習3m60　4m00　4m40  練習2m30　2m70　3m00 | 3m80　3m90　4m00　4m10　4m20　以後10cm  2m40　2m50　2m60　2m70　2m80　以後10cm |

※　三段跳の踏切板は、砂場まで男子１２ｍ、女子９ｍとする　　※棒高跳の練習はゴムバーを使用

（９）フィールド競技について

　　ａ フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に２カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを１つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

　　ｂ コーチングエリアを設ける。そのエリア以外では助言等は禁止する。

（10）助力について

　　　　競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助力については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアのみとする。その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、ＣＤ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用することはできない。

（11）競技用具について

　　 競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用のポール検査の上、私物の使用を許可する。

**２　表彰について**

（１）各種目８位までの入賞者は、成績発表後に本部前で表彰を行うので表彰者控所（競技場玄関ロビー）に集合すること。

（２）男女総合、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ３位まで表彰する。

**３　応援について**

（１）メインスタンドでの集団応援、およびメインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。

（２）メインスタンドでのテント設営を禁止する。

（３）ホームストレート延長線上のサイドスタンドでのテント設営、横断幕、のぼり旗は禁止する。

（４）横断幕・のぼり旗などの応援布は芝生スタンド上部のフェンスのみ許可する。

**４　練習について**

（１）原則として、本競技場・補助競技場および雨天走路を使用し、事前に連絡した「練習会場使用日程表」

と「練習会場注意事項」に従い行うこと。

（２）投てきの練習は、必ず各学校の監督が付添うこと。

（３）練習中の事故は、各学校の引率者の責任で対処すること。

**５　応急処置について**

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

**６　その他**

（１）製造メーカーの名称については、規定外のものは見えないようにテープを貼って対処すること。

（２）トラック種目の衣類運搬について

100m・200m・1500m・3000ｍ・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100ｍRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。

（３）競技終了後は第１ゲートから出てスタンドの外側を通ること。メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。トラック競技終了後は第１ゲートから出てスタンドの外側を通ること。ただし、フィールド競技が終了し競技役員誘導の退場の際は認める。入賞者は競技役員により表彰控場所へ誘導する。

（５）本競技場および補助競技場の開場について

６月１４日（木）の主会場の開場時間は１１：１０～１３：００までとする。補助競技場の開場時間は１１：００とする。６月１５日（金）～１７日（日）は７時００分以降とする。

（６）学校受付は、福井運動公園陸上競技場正面玄関ロビーにて行う。

６月１４日（木）　１１：００～１７：００　・　６月１５日（金）～１７日（日）　８：００～１６：００

（７）本競技場の場所取りは、６月１４日（木）１０：２０～１０：５０までに入場順を決める抽選を正面玄関前で行い、１１：００より抽選結果順に各校２名以内で入場する。ただし、メインスタンド、スタンド下走路は場所取りができない。テントの設営場所は、本競技場芝スタンド、本競技場外周囲の芝内、補助競技場の芝内でフィールド以外とする。ただし、運動公園事務所周辺、本競技場正面入口前、体育館周辺の芝内、公園内ランニングコース内は禁止する。

（８）混成競技者控室は、本競技場メインスタンド1階雨天走路の正面玄関ホール側に設ける。

（９）写真・ビデオ等の撮影について

受付で撮影許可証を受けること。また撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。